



災害時の協力体制を確認しました

志布志海上保安署と市が、災害時における仮事務所施設利用に関する協定を締結しました。

災害による津波等で使用不能になる可能性が高い合庁内の志布志海上保安署が、被災後も業務継続のために志布志支所の一部を事務所として使用することについての協定を、9月1日に市と締結しました。今回のような締結については鹿児島県内では初めて、第十管区海上保安部管内でも3例目です。



生活の知恵を学びました

市生活研究グループが便利な「てんてん帽」の作り方教室を開催しました。

8月23日、市生活研究グループが作業や調理の際にあると便利な帽子「てんてん帽」の作り方教室を開催し、10の方が参加しました。ミシンを使って上手に仕上げた参加者からは「市報を見ただけでは分からなかった細かい部分のコツが聞いて良かった」と話しました。

海浜活動研修を行いました

大隅青少年自然の家でジュニアリーダークラブが海浜活動研修を行いました。

8月24日大隅青少年自然の家でジュニアリーダークラブが海釣りやいかだ作り体験をしました。参加した生徒は「いかだはみんなの息を合わせて漕がないと、全然進まないどころか風に流されて大変」と感想を話し、協力することの大切さを学んだ研修となりました。



柔道をしっかり学びました

鹿児島県地方青少年柔道錬成大会が開催され、一流の講師陣が市内外の生徒・児童を指導しました。

8月23日と24日の2日間、同錬成大会が開催され、地元のスポーツ少年団や県内の高校などから多くの生徒・児童が参加しました。一流の講師陣が参加した今回の錬成大会は、柔道への正しい理解、心身の鍛錬、そして活力に満ちた健全な青少年の育成などを目的に行われました。



内之倉郵便局が日本一に！

内之倉郵便局が2013年度の総合営業成績で全国最高賞の複数商品表彰第1位を獲得しました！

9月1日、全国同規模の郵便局で競われる営業成績において、日本一に輝いた内之倉郵便局の田浦天志局長がその報告に市長を表敬しました。同郵便局は昨年、一昨年と2位でしたが、ついに念願の日本一を達成。田浦局長は「社員3人で力を合わせた結果」と喜びを話されました。



後輩たちのために役立てます！

有明中学校の卒業生が還暦同窓会を行い、集まった志（寄附金）約3万円を母校に贈呈しました。

8月20日、有明中学校校長室において、8月16日に実施された還暦同窓会で「志の箱」に集まった寄附金を牧原校長に手渡しました。これは還暦同窓会に出席した昭和45年3月の卒業生44名が、学校のために使って欲しいと寄附したもので、図書の購入に活用される予定です。

S L を綺麗にしました

志布志町S L保存会の皆さんが、志布志市鉄道公園に保存されているS Lの清掃を行いました。

9月2日、同保存会は製造から今年で75周年を迎えるS Lの清掃を行い、旧国鉄時代からこのS Lに関わってきた保存会の会員16人が参加しました。年に6回のS L清掃を続けている同保存会の皆さんは昔話に花を咲かせながら、現役でS Lが走っていたときと同様に、心を込めて磨き上げました。



充実のホームステイ in アメリカ

市青少年研修事業に参加した高校生4名と中学生5名が、帰国式でその成果を発表しました。

7月から8月の間、高校生はシアトル市へ1か月、中学生はカリフォルニア州へ3週間、ホームステイをしながら語学研修と異文化体験活動を行いました。研修生は、「海外研修では多くの人に積極的に話しかけることができた。将来に向けさらに英語力を伸ばせるよう努力したい」と抱負を語りました。

